

あとがき

少し前から私が担当するあとがきでは、その時々^{できごと}の出来事を簡単に書いておくようにしている。後で本特集号を読み返した時、これがどのような社会情勢の中で発行されたのか、思い出せるようにするためである。今回も何を取り上げようかと考えていたが、ご多分に漏れず、あまり良いニュースではなかった。前代未聞の現役農林水産大臣の自殺、緑資源機構の問題、社会保険庁のずさんな年金管理などなど、どれをとっても頭を抱えるばかりである。ゆいいつ若干楽しいニュースといえば、ハンカチ王子を擁する早稲田大学の6大学野球、春のリーグ戦優勝程度であろうか。

さて、本号は「情報伝達処理におけるグリアの機能と異常」と題した増大特集号である。これまでグリア細胞は、脳内において、損傷修復、血液脳関門、ミエリン形成、ニューロン周辺環境の維持など、さまざまな機能を果たしていることが明らかにされてきたが、最近になり、主にニューロンが担っていると考えられてきた神経伝達情報処理にも、グリア細胞が深く関与している事実が積み重ねられつつある。この特集号においては、グリア細胞が持つ多様な機能の中でも、特に最近注目を集めている神経伝達情報処理に焦点を当てて、編集されている。

現在、文部科学省科学研究費補助金特定領域研究において、グリアーニューロン回路網（領域代表 工藤佳久、平成15年～19年度）が推進されており、まさしくこの特集号が取り上げた内容に焦点を絞った研究が行われている。この特定領域研究の最終年度に本特集号が発行されることになり、まさしくグリア細胞研究の最新の進歩と呼ぶにふさわしい、タイムリーな、また充実した内容となっている。神経内科や脳神経外科などの臨床医には、多少マニアックな特集と映るかもしれないが、グリア細胞を除いては脳機能を語ることはできない時代がすぐ目前に迫っていることをご理解いただくためにも、ぜひ眼を通していただきたい特集号である。

（高坂新一）

編集顧問

生田 房 弘
臺 弘
大友 英 一
金澤 一郎
近藤 喜代太郎
酒田 英 夫
佐野 圭 司
島津 浩
杉田 秀 夫
高倉 公 朋
塚田 裕 三
中里 洋 一
彦坂 興 秀
平山 恵 造
藤澤 浩四郎
真柳 佳 昭
萬年 甫
水野 美 邦
柳澤 信 夫

編集委員

石塚 典 生
糸山 泰 人
岩田 誠
内山 真一郎
梶 龍 兒
川島 隆 太
河村 満
高坂 新一
作田 学
辻 省 次
寺本 明
中込 忠 好
中野 今 治
水澤 英 洋
（五十音順）

BRAIN and NERVE

（第59巻 第7号）

2007年7月1日（毎月1回1日発行）

定価 3,780 円（本体 3,600 円＋税 5 %（配送料実費））

（2007年、年ぎめ予約購読料 34,860 円（配送料弊社負担））

E-mail: bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

（高瀬・山内・山崎）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱アイワード (011) 241-9341

広告申込所 ㈱丹水社 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2007, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は㈱医学書院が保有します。
- JCLS <㈱日本著作権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作権管理システム（電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199）の許諾を得てください。